

1. 評価報告概要表

作成日 平成20年11月18日

【評価実施概要】

事業所番号	1192300067
法人名	社会福祉法人 翠生会
事業所名	ホーム下新倉
所在地	〒351-0111 埼玉県和光市下新倉5-13-11 (電話) 048-467-8883

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年11月17日

【情報提供票より】(平成20年10月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成20年5月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 9人, 非常勤 1人, 常勤換算 7.1人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建ての2階部分
------	-------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	62,500 円	その他の経費(月額)	10,500円+実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(440,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	500 円	昼食	700 円
	夕食	700 円	おやつ	100 円
	または1日あたり 円			

(4) 利用者の概要(10月30日現在)

利用者人数	4 名	男性	1 名	女性	3 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	1 名	要介護4	1 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.8 歳	最低	77 歳	最高	86 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	独立行政法人大学病院機構 埼玉病院、医療法人社団翠会 和光病院
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、平成20年5月に開設された新しいホームで、埼玉県和光市と東京都板橋区の都県境に位置する新興住宅地にある。大きな病院を持つ医療社団法人と特別養護老人ホームから在宅サービスの施設、保育園まで経営する法人の一施設であることから、様々な多機能性が活かせるグループホームに成長が見込まれる。中心に箱庭を作ったような回廊式になっている建物は、階下で認知症デイサービスを行い、隣地では保育園が営まれている。ホームは開設して間もないが、経験豊かな統括管理者の下でしっかりと地盤が築かれつつある。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回が初めての外部評価である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>全てのスタッフにアンケート形式で事前に自己評価票を記入してもらい、管理者がまとめている。今回の外部評価を受けた後、スタッフ会議で話し合い、更なる検討をしていくこととしている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は、2か月に1回、地区の地域包括支援センター、行政、自治会、家族の代表、医師、学識経験者など、幅広い立場のメンバーが参加して開催されている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>開設して間もないため、利用者も少なく人数が限られていることから、家族との連絡は受診の際だけでなく細かく密に行われている。現在は、様々な利用者の要望に柔軟に対応ができてきている状況にある。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>周囲は準工業地帯であり、かつては工業材料の資材置き場が多くあった地域であり、近くには大きな幹線道路が通っている。新興住宅地にあり、地域とは連携を深めている過程にあり、隣接した保育園の行事等に参加することで交流を図っている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	玄関に掲示している法人の理念に加え、ホーム独自の理念を事務室に掲げている。職員は理念のもと地域に根付いたサービスを目指し、地域ケアを意識しながら取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ会議では常に理念について話し合い、職員間で共有するとともに実践に向けて業務に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新興住宅地を抱え、新しい若い住民が多くを占める地域のため、交流に苦慮しているが、前向きに取り組んでいる。現在は、隣接する同一法人運営の保育園との交流をもとに、地域との連携を深めるよう働きかけている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全ての職員にアンケート形式で自己評価票を記入してもらったものを、管理者がまとめあげている。外部評価実施後はスタッフ会議で話し合い、更なる検討をしていきたいと考えている。	○	自己評価をはじめ、評価の意義の理解を全職員で深め、今後の取り組みに活かしていくことが期待される。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回、運営推進会議を開催している。会議には地区の地域包括支援センター、行政、自治会、家族の代表、医師、学識経験者など、幅広い立場のメンバーが参加している。会議で表出された意見については可能なことから取り組み始めるなど、次につながるよう努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	他市からの利用者の受け入れについて、市町村で協議が開かれている。また、入居にあたっては地域ケア会議を通じての受け入れが原則になっており、入居後も介護計画について話し合う場を持ち、連携を取りながら進めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	開設して間もないこともあり、まだ利用者も少なく人数が限られている。そのため、家族との連絡は受診の際だけに限らず、細かく密に行われている。現在は様々な利用者の要望に柔軟に対応ができていく状況にある。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族懇談会や面接の際に話をするほか、運営推進会議がしっかり開かれており、家族の代表にも参加してもらって意見を引き出すように努めている。また、管理者含め職員全員が同じ対応ができるよう、申し送りが1日に3回なされており、モニタリングを重視している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設して半年しか経っておらず、現在まで職員の退職・異動等はない。	○	人事の見直しがされる時のことを考慮に入れ、利用者一人ひとりに合わせてダメージを防ぐ対応ができるように検討しておくことを期待したい。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	現在は利用者が少人数のため、職員は比較的多くの研修に参加できている。また、必ず伝達講習の形をとって、フィードバックしている。スタッフ会議では、その中でケアの流れを学習することを取り入れており、成果を上げている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内にもいくつかの施設やサービス事業所を有しており、月2回行っている合同の勉強会には他法人の同業者も自由に参加することができるため、職員は行き来しながら交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前の見学や入居についての実態調査など、職員との接点を設けており、納得の上でサービスを開始できるように相談しながら工夫して取り組んでいる。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活の継続性を大切にしており、一緒に過ごす中で気持ちを分かち合いながら共に支えあう関係づくりに努めている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活歴や生活様式のアセスメントがきちんとされているかを常に心がけている。アセスメントを足していく方法で、観察と理解のモニタリングを繰り返し、より具体的に本人の思いや意向の把握に努めている。なお、家族からの聞き取りによる詳細な情報も大事にしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ざっくりしたプランを考える、スタッフがケアの内容を考える、できていること・できていないことをモニタリングする、この手順を繰り返す中で介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>同じ思いで対応することができるように、話し合いながら情報の共有・修正を重ねて介護計画を練り上げている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同じ法人の小規模多機能型居宅介護事業所から利用者を受け入れたり、都県境にある立地条件から地域協議会を開催したりと、多様なニーズに応えようと努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族が望む主治医にかかることができる。その際、家族が付き添うことができなければ、スタッフが送迎し、代わりに付き添うことも可能である。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時には、医療行為が必要となった場合は看ることができないことを説明している。協力病院の医師などと連携をとってはいるものの、ホームでの看取りはまだ視野に入っていない。	○	どのくらいの状況まで看るのか、ルールを作る必要がある。これから先、スタッフのほか家族やかかりつけ医も含めて話し合いながら、時間をかけて統一した方針を練り上げていくことを期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員間では、何かあればすぐに注意し合える状況にある。守られなければならない利用者の権限や個人情報などについて徹底をしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	『今日はどうですか』の声掛けをすることを心がけている。答えが出れば要望にそった支援に努め、答えが出なければ利用者のペースを大切にしながら今何ができかを見出してケアにあたっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を摂るリビング脇にある台所で調理されたものを、職員も一緒に世間話をしながら食べている。また、利用者は配下膳など、できることを手伝っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者一人ひとりの希望や状況に応じて入浴の支援をしている。希望があれば毎日入浴することも可能である。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	気軽に畳の上で寝たり、好きな週刊誌を読むことができるようにするなど、利用者の意向を大切にしながら、本人にとってよりよい生活を過ごせるよう支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や利用者の状態に合わせて散歩をはじめとした外出支援を行い、できる限り戸外に出かけるように心がけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守りをして安全の確保をしつつ、職員の目が行き届く範囲内で鍵をかけないよう取り組んでいる。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣接している保育園と合同で1か月～2か月に1度、防災訓練が行われている。	○	保育園と一緒に訓練が行われているが近隣地域住民との連携には至っていないため、今後、消防署の協力を得て訓練を行いながら、連携体制を構築していくことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	臨機応変にメニューに手を加えながら、スタッフを中心にして作っている食事を摂っている。記録は残しているが、詳細なデータ記載については、モニタリングで何処まで記載するかを検討している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	シンプルな造りの建物で、落ち着きとまとまりがある。2階にも中庭があり、採光も採れ、明るい雰囲気の間となっている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、それぞれに持ち込みの家具などで個性あふれたものになっており、本人が安心して暮らせるように工夫されている。		